



編集兼発行
公益財団法人 小笠原協会
東京都港区海岸1-12-2
竹芝客船ターミナル2階
電話 03-3432-4921
FAX 03-3432-4487
振替貯金口座(郵便)
00190-9-64610
みずほ銀行芝支店
普通 3242428

小笠原諸島振興開発特別措置法が延長されました

奄美群島と小笠原諸島の振興に向けた取組を引き続き支援し、両地域における新たな課題等への対応に組み込むための「奄美群島振興開発特別措置法及び小笠原諸島振興開発特別措置法の一部を改正する法律案」が令和6年2月9日閣議決定され、3月29日に国会で可決成立しました。

これにより、小笠原諸島振興開発特別措置法は令和11年3月31日まで5年間延長されることになりました。

2. 法改正の概要

(1) 法期限の延長
奄美群島振興開発特別措置法及び小笠原諸島振興開発特別措置法の有効期限を令和5年3月31日から令和10年度末(令和11年3月31日)まで5年間延長

(2) 地方への人の流れの創出
目的規定等に「移住の促進」を追加、「移住の促進」に関する配慮規定を新設【奄美法・小笠原法】

(3) 沖縄との連携強化
基本理念に「沖縄との連携」を追加【奄美法】

(4) 新たな課題等への対応
配慮規定に「遠隔教育」「先端的な情報通信技術の活用」を追加【奄美法・小笠原法】

その他、遠隔医療や防災対策を含め配慮規定を充実

【奄美法・小笠原法】
(独) 奄美群島振興開発基金の業務について、現行の債務保証・融資業務に加え、事業者への「コンサルティング業務」を追加【奄美法】

奄美群島と小笠原諸島の振興に向けた取組を引き続き支援するとともに、新たに両地域への移住の促進を図ることで、地域社会の維持のための取組を進めていく必要があります。

小笠原諸島振興開発基本方針が策定されました

小笠原諸島振興開発審議会委員
(小笠原協会理事) 小暮実

令和6年4月19日、第102回小笠原諸島振興開発審議会開催され、「小笠原諸島振興開発基本方針」の策定について議論が交わされました。

これら審議会での意見を踏まえ、国土交通省は5月8日「小笠原諸島振興開発基本方針」を策定公表しましたので、その概要をお知らせします。

【振興開発の意義】
小笠原諸島は、我が国の排他的経済水域の約3割を確保し、海洋資源の開発や海上交通の要衝として世界的にも重要な地域である。

住民が定住していることにより、排他的経済水域の保全、海上交通の安全確保、自然環境の保全・再生や文化の継承などの役割を果たしている。

小笠原諸島の振興開発により、自立的発展、住民の生活の安定及び福祉の向上並びに移住・定住の促進を図ることが重要である。

【振興開発の方向】
(1) 生活環境の整備・産業の振興による移住・定住の促進

・高齢化の進展も踏まえた保健・医療や福祉の充実、若い世代の移住・定住の促進に向けた住宅の確保、妊娠

婦への支援、学校施設等の計画的な老朽化対策を行う災害時における住民や観光客の孤立防止に必要な避難道路等の防災施設の整備を含めた社会資本の整備及び維持管理を進める

・伝統的な基幹産業である農業や漁業、現在の主要産業であり裾野の広い観光産業を軸に、小笠原諸島の強みや地域資源を活かした産業振興を図り、移住希望者の雇用機会を確保する

(2) 小笠原諸島内外の交通アクセスの整備
「おがさわら丸」、「ははじま丸」の安定的な運航を確保するため港湾施設の整備に計画的かつ継続的に取り組み、あわせて道路等の整備による島内交通の利便性の向上を図る

・航空路の開設に関しては、災害や傷病等の緊急時の安全・安心を確保し、住民生活の安定を図るためにも、地元の意見や自然環境との調和に十分配慮しつつ、必要な取組を進める

(3) 自然環境の保全・再生
・世界自然遺産に登録された貴重な自然環境を保全・再生及び継承し、生物多様性の増進に資するため、外来種対策や開発における適切な環境配慮等、自然と調和共生する取組を進める

・特に、父島・母島において、住民や来島者に対する教育・普及啓発活動の充実に取り組みなど、小笠原らしい貴重な自然環境の継承を図る

原稿募集 強制疎開から80年

本年は、昭和19年に小笠原島民が本土に強制疎開させられてから80周年を迎えました。財産を島に残し、ほとんどの着の身着のままの姿で船に乗りも、慣れない土地での生活は困窮を極め、悲劇的な事も起こるほどでした。このように過酷な経験をされた小笠原旧島民の記憶を小笠原協会機関誌特集号として刊行し、記録として保存してまいります。そこで、「強制疎開から80年」と題して、当時の状況、生活、思い出等、「強制疎開」にまつわるお話をお聞かせください。

●字数 600字程度
●締め切り 8月31日(土)
●送り先 <郵送>
〒105-0022
東京都港区海岸1-12-2
竹芝客船ターミナル2階
公益財団法人小笠原協会
<メール>
kzho@ogasawarak.jp
郵便番号、住所、氏名、電話番号を必ず明記してください。原稿等の文字情報は、趣旨を踏まえて編集させていただく場合があります。応募多数のため掲載されない場合もあります。小笠原協会ホームページ等にも掲載されることをご了承下さい。原稿をお書きになれない場合には、可能な限り、小笠原協会からお話をお聞きに伺いますので、ご相談ください。2世、3世の方の投稿も大歓迎です。

たつては、他地域との交流や島外からの投資が、地域と共生し、真に小笠原諸島の活力につながるものとなるよう留意する。なお、この小笠原諸島振興開発基本方針の全文は、国土交通省のホームページで公開されています。

の向上、移住・定住の促進を図り、小笠原諸島の自立的発展を目指すうえで根幹となる産業基盤や生活基盤施設等の整備を実施します。各事業の概要は次のとおりです。

①産業基盤施設等整備費補助
農業・水産業基盤整備
◆ほ場造成(都事業)
母島の農業用水槽交換工事を実施する。

イ 農業・水産業振興
◆水産センター(都事業)
飼育観察棟等の改修工事を実施する。

ウ 観光振興
◆自然公園(都事業)
園地・歩道整備、植生回復、自然ガイドの養成講習等を実施する。

◆都市公園(都事業)
大神山公園の園地整備、急傾斜地対策を実施します。

ア 生活基盤施設等整備費補助
道路整備
◆都道(都事業)
道路災害防除工事を実施する。

◆村道(村事業)
橋梁点検及び補修計画を策定する。

イ 生活環境施設等整備
◆小中学校整備(村事業)
小笠原小学校・中学校の屋内運動場・プール棟の工事を実施する。

◆診療所建物(村事業)
父島診療所の空調更新を

実施する。

◆砂防(都事業)
父島の時雨川支川及び母島の大谷川支川の砂防対策工事を実施する。

令和6年度 小笠原諸島振興開発事業費予算について

振興開発事業費 16億9千300万円

I 小笠原諸島の現況

小笠原諸島は昭和43年に日本に復帰し、昨年は返還55周年を迎えました。東京都はこれまで小笠原諸島振興開発特別措置法に基づき、小笠原諸島の自立的発展に向けた様々な施策を推進してきました。

一方で、本土との交通アクセスの改善や生活基盤の整備、島内産業の活性化など、依然として解決すべき多くの課題を残しているほか、返還当初に建設された公共施設の老朽化が進み、施設更新等の対策が急務となっています。

また、世界自然遺産である貴重な自然環境の保全・再生、南海トラフ地震等に備えた防災対策の強化、再生可能エネルギーの活用など、地域の自立的発展に向けた取組を着実に進める必要があります。

II 振興開発事業の概要

●事業費
16億9千300万円
国庫補助の対象となる令和6年度の事業費予算は約16億9千300万円となり、令和5年度の約18億4千000万円から約8%の減となっています。

1 小笠原諸島振興開発事業費補助

令和6年度の振興開発事業では、住民生活の安定・福祉

の向上、移住・定住の促進を

実施する。

◆診療所建物(村事業)
父島診療所の空調更新を

実施する。

◆砂防(都事業)
父島の時雨川支川及び母島の大谷川支川の砂防対策工事を実施する。

◆都市公園(都事業)
大神山公園の園地整備、急傾斜地対策を実施します。

◆生活基盤施設等整備費補助
道路整備
◆都道(都事業)
道路災害防除工事を実施する。

◆村道(村事業)
橋梁点検及び補修計画を策定する。

イ 生活環境施設等整備
◆小中学校整備(村事業)
小笠原小学校・中学校の屋内運動場・プール棟の工事を実施する。

◆診療所建物(村事業)
父島診療所の空調更新を

実施する。

◆砂防(都事業)
父島の時雨川支川及び母島の大谷川支川の砂防対策工事を実施する。

実施する。



父島の時雨川支川及び母島の大谷川支川の砂防対策工事を実施する。

2 小笠原諸島振興開発補助金

①病害虫等防除
防除(都事業)
ミカンコミバエ等再侵入警戒調査・アフリカマイマイ等の防除事業を実施する。

イ 試験研究(都事業)
指定病害虫及び一般病害虫防除の試験研究を実施する。

②診療所運営(村事業)
診療所の管理運営、機材の確保等の整備運営を実施する。

③各種調査(都事業)
観光振興事業として、旅行者の実態やニーズを調査する。

「私と小笠原」
第16回

小笠原協会参与

水野 勇



○小笠原感激の出会い

小笠原へ始めて上陸したのは、昭和43年1月東海汽船貨物課勤務の時、東京都のチャーター船、黒潮丸(496トン)で小笠原の貨物荷役の引き渡し等での業務視察でした。初めて会う島民は欧米系の顔だちで、日本語をべらべら話している。気候も内地の夏よりも暑く、ここは本当に日本なのかなと驚きました。

また、作業休息の時、西瓜の差し入れがあり、とても甘く水分補給にもなり、島民の方々の優しさで感謝しました。

○小笠原海運入社

昭和47年4月小笠原定期航路、椿丸(1016トン)が就航。

同年8月小笠原海運常務取締役田中義人さん、営業部長馬場富三也さんのお誘いで入社。両氏は東海汽船入社時の直接上司で断れ切れず、父島営業所勤務を了承。

仕事は椿丸の入港準備(木曜日)から出港後(日曜日)の整理の週4日間、昼間は魚釣り、夜は麻雀を楽しみ、余裕たっぷりの生活を過ごしました。事務所はサイマン・セボレー氏の敷地、奥様のみき子さんは海運アルバイト、公私共々お世話になりました。

○硫黄島協会 和智恒蔵会長
(元海軍大佐 元硫黄島海軍警備隊指令)との出合い
昭和54年6月和智会長と父

島の宮川典男さん(硫黄島出身、海運父島荷役作業請負代表者)が本社に本社。硫黄島戦没者(2万3千人)遺族の皆様、及び生還者と共に、硫黄島で亡くなった兵士の慰霊巡拝をしたいと強く要望。

硫黄島には船を接岸する岸壁が無く、事前に宮川さんが漁船で再三に渡り上陸地点などを調査。

同年10月205名の会員、上陸用器材(漁船、浮桟橋、渡船用小型ボート、タラップ等)を搭載し父島出港。翌朝、硫黄島は大しけて上陸不可能。翌日上陸を再度試みましたが、波が高く上陸を断念。時化の中、摺鉢山を横に見ながら洋上慰霊となった。

東京から約48時間、地方からの参加者は前日から宿泊し、多額の旅費を支払い、目の前に硫黄島があるのに上陸出来ないのは誠に残念。船のデッキでは「○○○さんまた来るよう・・・」沈痛な気持ちで隠し切れず、次回の訪島での上陸を願うばかり。

昭和54年10月25日慰霊墓参団224名と硫黄島釜岩地点上陸。

生還者の案内で南観音、水平砲台、摺鉢山、栗津塚等を廻り、天山戦没者慰霊塔前で慰霊祭。代表者が追悼の言葉を読み上げると、男の方も涙を押さえ、癒えない気持ちを隠せずもらい泣き。その後、硫黄島協会の慰霊墓参は15回続き2、579名の皆様が参加しました。

その後、昭和59年から東京都福祉局、厚生省援護局、小笠原村と主催者が変わり、硫黄島墓参を継続しましたが、定期船おがさわら丸が大きくなり、海底の隆起も激しく、安全に上陸作業ができなくなり、現在、自衛隊機による慰霊を行っている。

○小笠原協会
小豆畑孝会長との出合い

平成7年から平成9年3回目の父島勤務。はじめ丸出港時の桟橋で「お前ここで何をやっているの?」「はい、海運の所長やっています」あそこ、久しぶりだねー頑張っている!!と挨拶。

(実は昭和48年小豆畑孝会長が村民課長の時、3か月間、父島で一緒でした)

平成12年 小笠原協会設立三十五周年記念事業で、旧島民の方々と協会賛助会員、小笠原愛好者に、現在の小笠原を知ってもらう目的で、会長と梅原英男事務局長が「小笠原訪問並びに交流ツアー」を企画。交流ツアーの料金は、船運賃、宿泊代、島内オプションも割引、また、開催は秋の大山神社お祭りに合わせて、父島・母島で歓迎会を開き、島ぐるみで応援。歓迎会では南洋踊り、カメラ料理、特産物を提供されて大好評でした。

読者の皆様、今年秋に実施予定の交流ツアーには是非ご参加して下さい。

船に弱い会長とは、1回目から10年間一緒にツアーに行き、ツアーを盛り上げました。小豆畑会長とは、小笠原で出会った方々の親睦会「小笠原ゴルフクラブ」「小笠原山岳会」に参加、色々な方々と出会うことができ、ありがとうございました。

○硫黄島旧島民の会
岡本良晴会長との出合い
硫黄島の遺骨収集は厚生労働省が実施する事業ですが、島民も軍属として103人徴用されて83人亡くなりました。父島在住島民の会が遺骨収集に参加しております。

前葉で書きましたが、和智会長との出合いで、慰霊巡拝の皆様と共に感動した思いが忘れられず、定年になり、硫



黄島の遺骨収集に参加しております。

平成22年 初めての遺骨の出会いは、摺鉢山水平砲台前の30cm下から、頭から足指まで完全な一柱、涙を流しながらお迎えしました。

遺骨は熱い地下壕の中、砂で埋もれた砲台跡など、飲み水、食べ物なく、厳しい壕作り重労働、敗戦も知らず、苦しみだけを残して亡くなった硫黄島の戦士の遺骨を一日でも早く、同朋が眠る千鳥ヶ淵に帰してやりたい思いで、遺骨収集をやっております。

小笠原は返還から半世紀過ぎた令和の時代、硫黄島も内

地と同じく島民も三世代が中心の時代になりました。日本で一番遠い島、一番大きい海域を持つ島、世界遺産の島など小笠原の特色活かし、若者たちの時代感覚で誰からも憧れる小笠原になるように願っております。

2023年度小笠原訪問
交流ツアーに参加して

小林敬子



昨年、義兄より「小笠原に行かないか」との話があり、妹夫婦や旅友を誘って4人、山梨から参加しました。海なし原に住んでいるものにとつて、海は憧れやロマンを抱かせる存在です。まして24時間の航海しか訪れる手段がない行先。ワクワクしながら出発の日を迎えました。

昨年は、4年ぶりに大神山神社の例大祭も復活とのこと、期待は増すばかりでした。10月31日午前11時、片道千キロの船旅が始まりました。午後2時に結団式、午後4時過ぎに三宅島沖を通過、泡立つ様に流れる黒潮をデッキから眺め、南に流されていった漂流民の悲しみに思いをはせました。八丈島を過ぎると、もう電波も届きません。うとうととしているうちに、酔いもせず朝になっていました。活発に飛び回るカツオドリをまじかに眺め、その後、船内ガイドの説明を聞きながら鴛島列島を遠望、いよいよ父島です。

風景、におい、服装など、南の島にきたことを実感。夜はツアー一行を歓迎する小笠原郷土芸能鑑賞会が開かれ、島民のみなさんによる様々な芸能や踊りが披露されました。その後、鈴木さんの教え子が経営する居酒屋で、小笠原色溢れる島寿司や島料理をいただき、親睦を更に深めました。

3泊4日父島で、印象に残ったことを書き留めます。

第一に、マリーンブルーの海です。いくつもの海岸を回りましたが、南島見学は圧巻でした。鮫池と呼ばれる入江の不安定な足場からガイドさんの手を借りて上陸、この島には自然を守るために特に厳しい規則が定められています。砂浜には無数のヒロベソカタマイマイの半化石が転がっています。かつて木々に覆われていたことの証明です。白い砂浜と扇池のコントラストがとても美しく、買い求めたギョサンを履いて、しばし海水に浸ってしまいました。小笠原自体が大陸と一度も陸続きにならなかったことがなく、まさしく固有種の宝庫なのです。

第二に、ナイトツアーです。暗闇の中からカサカサと音がします。それが固有種の小笠原オオコウモリでした。谷間のグリーンベベ、船着き場のシロワニまでが姿を現しました。見上げると満天の星空が広がっています。双眼鏡を借り説明を聞きながら、時を忘れて別世界に誘い込まれていました。貴重な体験でした。

第三は、奥村にお住いで昨年12月に天に召された大平京子さんのことです。初日の歓迎会の南洋踊りでバックに流れていた張りのある歌声の主が大平さんなのです。入院中だった大平さんに代わって、娘の嘉陽ジャネットさんからお話しをお聞きしました。現在は東京にお住まいで、小笠原高校の第一期卒業生です。ちょうど日本への復帰が行われ、突然英語から日本語主体の授業に代わり苦勞したということ。同様のことは沖縄でもありました。大平さんは欧米系島民の子孫です。日本兵が残っていた貴重な金貨も見せていただきました。

小笠原
Ogasawara Smile Tourism

今年も開催します!!
小笠原協会
2024 小笠原訪問並びに交流ツアー

ツアー期間
令和6年10月31日(休)から11月5日(火)までの5泊6日
(船中2泊)

ツアー企画 公益財団法人 小笠原協会

旅行主催・予約受付
【お申込みは、電話にて小笠原海運株式会社になります。】
小笠原海運株式会社 (東京都知事登録 2-2135)
☎ 03-3451-5171 (10時~16時(土・日・祝日を除く))
※小笠原協会での予約受付はしませんのでご注意ください。

後援(予定)
小笠原村、小笠原支庁、小笠原村観光協会
小笠原母島観光協会、小笠原島漁業協同組合
小笠原母島漁業協同組合、小笠原村社会福祉協議会
小笠原村商工会、小笠原アイランド農業協同組合

募集期間
令和6年9月2日(月)~10月10日(木)

募集人員
150名
※期間内に募集人員に達した場合は、受付を締切ります。

参加対象
旧島民及び賛助会員、小笠原を愛する皆さま

行程
10/31 ① 11:00 東京発
11/ 1 ② 11:00 父島着、午後フリータイム、夕:父島交流会(夕食付)
11/2 ③~11/3(日)
終日フリータイム、父島大神山神社例大祭
11/ 4 ④ 午前フリータイム、15:00 父島発
11/ 5 ⑤ 15:00 東京着

参加費

区分	旧島民・小笠原協会賛助会員		左記以外の方	
	大人	子供(小学生)	大人	子供(小学生)
特2等寝台	72,000円	38,000円	86,000円	45,000円
2等寝台	55,000円	30,000円	66,000円	35,000円
2等和室	49,000円	27,000円	58,000円	31,000円

1 参加費には、おがさわら丸往復運賃、燃料油価格変動調整金、旅行傷害保険料、消費税が含まれます。
2 おがさわら丸の上級席をご希望の方は、予約時にお申し出下さい。

その他
◎宿のお手配・ご負担とも、ご自身でお願いします。
◎おがさわら丸船中および島での食事代、父島・母島間のははじ丸運賃は自己負担です。
◎お申し込み後のキャンセルは、キャンセル料が発生することがあります。
◎小笠原協会ホームページでもご案内します。

父島だより 赤間晶子

返還前と返還直後は どう変わった？

今回は、返還直後の話を書こうと思います。返還当時二十歳前だった上部フローラさんと小生だった上部ジョエンさんに話を伺いました。

何気ない雑談から始まり、まず、返還前と返還後の食料事情が話題になりました。

返還前の食料品はどこから？

返還前はアメリカ領土のため生活用品や食料品などは、グアムから飛行機で輸送されていました。

現在の小笠原消費生活協同組合が「BTCJ」(Bonin Islands Trading Company)と言う名で食料品や雑貨を販売していました。また米軍が来島する際には、木箱に入ったリンゴなどが手に入り、皆で分けていました。

12月には、山になっているオレンジを島民が集まって採りに行ったり、クリスマス前になると弟島に放牧していた牛を狩りに行き、貴重なお肉を各家に分けていました。

お葬式の時は、男性陣がお墓の準備をし、女性陣がとり飯・島寿司・ポテトサラダなどを作って振舞いました。



返還1周年の頃(赤間泰子氏提供)



月1回の黒潮丸(赤間泰子氏提供)

おやつは、なかなか手に入らないため各家庭でいろいろ工夫して作っていました。上部家には石臼があったので米を挽き、みたらし団子を作りました。また、ひょうたん型のカボチャがたくさん栽培され、手に入りやすかったので、パンプリンパイは各家庭で上手に作っていたそうです。他には、蒸しパン(蒸かしパン)などもありました。

返還直後の食料事情

返還後は、日本からのみ物資が運ばれてきました。その中に、返還前と変わらずに、スラム、キャンベルスープ、キスチョコ、キャラメル(クラフト)などが含まれていたことは、小さな喜びでした。

ちなみに、返還直後に小笠原小学校教諭として赴任した筆者の母(赤間泰子)にも当時の食料の事情を聞きまし

た。母は、東京都の職員とともに、小笠原支庁食堂で食事をしていました。月1回の黒潮丸が入港すると2週間程は豊かな内容の食事でしたが、徐々に食料が減っていき、最後は、白米と少量の野菜がのっているカップラーメンが出てきました。時に、釣った魚が手に入るとその日の夕食は、刺身や島寿司が出ました。

建設会社は、多くの作業従事者のために、大きな冷蔵庫を用意し、大量に食料を確保

しました。島民の方が仕事を手伝いに来てくれると、弁当代として米や野菜を分けていました。

食料が手に入りにくい時代のため、島民全員が協力し合いながら生活していたことが分かりました。

通信事情

電話の話も出ました。返還後は、内地との連絡は、電公社の電話交換手にこの誰に電話をしたいか申し込み、交換手から電話がかかってくるのを待つ、順番待ちでした。

フローラさんは、返還後に内地へ就職をしました。当時、メディアがこぞって小笠原の記事を書いていたが、その内

の二つに島へ電話をかける取材がありました。その取材のために奇麗なワンピースを着て電公社本社へ行ったそうです。

しまことば

最後に、島の喋り言葉が話題になり印象的なので紹介し

ます。

「ゴミをふててください」(ゴミを捨ててください)

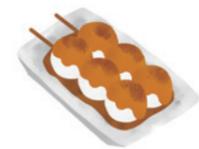
「これからいこからね」(これから動くからね)

「傘をかぶる」(傘をさす)

「そこにたらがてる」(?)

最後の答えは、分かりませんか?ヒントは、八丈島でも使います。気になる方は、しまことばを喋る先輩方に聞いてみてください。

今回、話を聞かせて頂いたフローラさん、ジョエンさん、ありがとうございました。



安藤光一元小笠原村長を偲ぶ

全国離島振興協議会・公益財団法人日本離島センター
特認研究員(前事務局長) 仲田 成徳

私は一九八〇年(昭和五十五)、全国離島振興協議会(通称「全離島」)並びに財団法人日本離島センター(現在は公益財団法人)の職員として採用され、四十五間にわたり事務局に勤務して参りました。

この両団体は、北海道から沖縄まで全国の離島関係市町村で組織されており、小笠原振興特措法はじめ五つある離島関係法に係る全ての市町村が一つの組織となつて活動しています。

思い起こせば、私の採用時は未加入の自治体がいくつもあり、その中の一つが小笠原村でした。そこで当時の事務局長と相談し、法指定離島に係る自治体は全て全離島に加入してもらおうと勧誘文書を作成し、小笠原村にも当時の

安藤村長宛に加入の願いを送った記録があります。それが安藤光一さんというお名前前に接した最初でした。

そして昭和五十八年一月十四日小笠原村が全離島に正式に加入され、後年日本離島センターにも加入していただき現在に至っております。加入後の村長在任中は、毎年開催される全離島総会にもよく出席されていたことが思い出されます。

時は流れて平成十九年十月、安藤さんが小笠原村商工会長を務められていた頃、東京都商工会連合会主催の「観光立島シンポジウム」で一緒に絡したこともありました。村長在任時と変わらぬお元気なご様子で活躍しておられたことも思い出されます。

安藤光一元村長のご冥福を心よりお祈り申し上げます。

皆様ありがとうございました

令和6年3月1日から令和6年4月30日まで

- 個人賛助会費
- ▽五口 洪井 信和
- ▽四口 野呂 雅敏
- ▽三口 星野 勢 英 辰次郎
- 神藤 信之 三原 實
- 青野 春樹 後藤 乾一
- 佐藤 豪介 滑川 進
- 古橋 雷太 森田 裕一
- 泉澤 弘幸 齋藤 邦雄
- 陽田 房藏 稲垣 政孝
- 中森 福代 鈴木 高弘
- 石原 俊 大島 洋子
- ▽二口 海老根 鐵男 鶴沢 保雄
- 金子 健一 杉野 信夫
- ▽一口 弓野よし江 小島 章弘
- 中林千恵子 杉浦 浩
- ハイノマリウス
- 山越 茂樹 村田 憲一
- 阿部 孝 米澤 義正
- 池田 望 洪井 洋子
- 竹内 浩美 名倉 衡
- 中村 益美 荒井 公子
- 浅沼 研 天野 直樹
- 井出 和夫 稲垣 賢
- 宇佐美秀幸 大滝 茂美
- 岡本 恭広 金田 巨
- 川田 裕士 川野部裕之
- 工藤 芳正 久保田和真
- 郡 彪 郡 百代
- 小橋 弘道 酒井 新奈
- 榊原 邦彦 酒寄 靖子

- 佐藤 信秀 佐藤嘉久男
- 菅谷 治喜 杉本 友子
- 鈴木 憲治 田岡 克己
- 鶴崎 隆一 手塚 年章
- 中川 剛志 中戸川哲哉
- 成瀬 優 成瀬 悠子
- 長谷川昌伸 廣清 輝一
- 松岡 克次 八川 浪
- 六田 典子 安部 倫世
- 安藤 陽子 井川 直孝
- 池端 薫 上野 裕代
- 太田 建一 金村 貴永
- 金村 夕香 鎌田 嘉彦
- 木原 修 木原多恵子
- 三枝 佳紀 坂田 俊行
- 高橋はるみ 橋本 敦子
- 橋本 敦史 藤本 功
- 黛 尚見 森 俊一
- 小豆畑 淳 稲垣 強
- 奥原 正人 富田 清浩
- 正田 壮一 皆川 重次
- 山口 玲子 相川 康太
- 安藤 英二 飯田 福実
- 飯塚 優子 飯塚 吉喜
- 石井 良則 石川 咲生
- 稲垣 稔 井上 敦夫
- 井部 芳明 上部 健一
- 遠藤 宏
- 大平マイケル 小笠原明宏
- 小田 浩司 尾田 俊雄
- 加藤 春美 金川 敏夫
- 金川 美代 唐澤 正博
- 川北 和徳 川口 敏一
- 菊池 武博 小久保靖江
- 後藤 美佳 小林 哲
- 五味 金臣 古味 宏之
- 佐々木日出子 佐々木裕史
- 佐藤 雅美 佐藤 充
- 澤 哲也 澤田 實
- 莊子 利枝 莊子 敏光
- 新谷 将夫 鈴木 康一
- 瀬川 富久 関口奈津子
- 関根 正夫 袖山 直樹
- 曾根 博義 高村あゆみ
- 滝沢 恵美 武市 定雄
- 谷 貢 辻 トメ子
- 手塚 博治 長島 俊彰
- 中田 智子 並木しのぶ
- 成田 浩 延島 冬生
- 長谷川 馨 板東 和子
- 長谷部マチ子
- 平田 勝次 広瀬 敦子
- 広瀬 孝雄 逸見亜希子
- 細井 優 松本 一雅
- 松永宣一郎 皆尾 幸司
- 宮崎 伸子 矢島 利紀
- 山内 隆夫 山木由姫路
- 山口 禎子 山下 梢
- 横倉 康明 横瀬 邦雄
- 横山 辰巳 吉野 裕子
- 吉野 美咲 依光 桃子
- 若澤 美義 赤石 一昌
- 荒木 信之 安藤 正夫
- 五十里圭紀 石井三千雄
- 五日市雄紀 岩瀬 雄介
- 岩田 和子 内田 博貴
- 大村 雅一 奥原 芳雄
- 記内 現 菊池 アサ
- 倉岡恵美子 小泉 敦男
- 齋藤 憲明 佐々木英樹
- 佐藤 忠義 佐藤 洋美
- 佐藤 洋子 椎野 雅子
- 篠原 弘奈 島崎 広光
- 杉田 裕志 鈴木 君江
- 銭谷 正勝 高石 善久
- 竹内 曜 戸口 葉子
- 登坂 洋介 中島 斉子
- 中島 隼人 平松 茂雄
- 正井 彰俊 水野 勇
- 三田村信吉 安藤 直輝
- 吉田 剛 渡辺 昭
- 渡辺 通宏 青木 敬
- 青木奈都子 天野 真治
- 稲生 有香 稲垣 武久
- 乾 幸子 小澤 道子
- 小野 康夫 柿沼 正晃
- 川手 善昭 菊田 薫
- 木村 成也 木村 眞昭
- 木村ネルソン 榊原 孝子
- 駒井 政公 齋藤 孝子
- 鈴木 保夫 袖山 豊明
- 田澤 正史 田中 淳一
- 田中 俊行 田中 康子
- 田村 慎恵 野澤 徹
- 長谷川聡子 松田 裕一
- 丸山 義雄 石田 裕子
- 宮本 貢治 森永 論
- 八川 修仁 山田 康彦
- 青木 慎一 浅沼 更企
- 飯沼 由美 石井 正則
- 石川 由子 今井 健夫
- 上野 俊郎 海老原 裕
- 大友康太郎 萩原 正典
- 加藤 正樹 熊坂 文夫
- 齋藤 武 齋藤 洋子
- 俵 真末 栃木みよし
- 中嶋 奨 中嶋 弘
- 中嶋 好枝 成田 惣一
- 成田 安子 二階堂洋史
- 西邑 省三 船山 浩志
- 溝田 敦子 宮川久仁雄
- 宮田 靖子 森田 優希
- 山田 正一 渡邊 優子
- 小豆畑純子 飯島 誠
- 生駒 篤史 生駒 青波
- 大熊志津子 萩原 勉
- 奥秋 彰一 木村 陽子
- 慶野 義尚 齊賀 孝一
- 斎藤 毅 坂口 京子
- 下地 洋一 鈴木 可久
- 鈴木千恵子 瀬堀 エル
- 高島 幸夫 高橋 和志
- 瀧川 直子 田巻 克彦
- 田巻 優子 天明きみ子
- 中村 恭子 中村 豊
- 林 眞一郎 山口 広美
- 宮川メリー・ヂュン 富山 裕司
- 吉田 不曇 富山 裕司
- 富山 香子 市川 之
- 青木 浩之 市川 之
- 今泉 貴裕 金刺 雅道
- 金刺美代子 北井 十生
- 桐林 真人 五ノ井市朗
- 杉山 真也 清宮眞知子
- 田代 義一 田中 隆三
- 中川 純子 浜川貴美隆
- 林 由美子 福田 清道
- 福田 幸香 藤井 秀一
- 近藤 匠 山田 真
- 柴内 康吉 佐藤 勉
- 田口 啓子 戸所 静夫
- 中浴 嗣也 中島 徳
- 中村 玲子 新関 厚
- 久田 浩二 久田奈津子
- 村田 能子 八川眞由美
- 山崎 泰志 湯池 祥悟
- 竹久 茂伸 濱邊 健志
- 本郷 素行 米田美紗緒
- 渡辺 圭子 飯塚 雄三

令和6年6月1日現在 ()内は前年同月		令和6年5月気象状況 ()内は前年同月(父島)	
住民基本台帳登録者数	最高気温	30.4℃	(28.9℃)
○世帯 1,509世帯 (1,522世帯)	最低気温	17.4℃	(17.9℃)
父島 1,245世帯 (1,247世帯)	平均気温	25.0℃	(23.6℃)
母島 264世帯 (275世帯)	平均湿度	87%	(83%)
○人口 2,518人 (2,585人)	月降水量	14.0mm	(208.5mm)
父島 2,088人 (2,129人)	令和6年5月中の来島者数 ()内は前年同月(父島)		
母島 430人 (456人)	定期船	1,354人	(681人)
	観光船	317人	(0人)

前田 豊	高橋由紀子	黒岩 純子	神田 豊	牛窪真理子	赤間 泰子	山口 順治	福原 誠志	清水 洋子	石山 進	村山 政雄	藤田かおる	徳田 匡泰	染谷 俊汰	川瀬 航司	大澤五百子	三田村博計	高橋 三弥	有松佐知子	青山 千津	鷺津 数聖	山口 哲	森川 恭助	七井 正敏	網 作子	押切 重洋	宮坂 大修	松崎 俊治	吉川 修	對馬 秀子	高井 博英	磯貝 洋平	森 康正	増井 武	高山 和敏	小平 昌男	宇賀神秀夫	池田 孝子
有川美紀子	袋 裕子	須藤 栄治	北野 由美	神谷 武史	赤間 巖	陸川 理沙	山川雅太郎	中原 章智	清水 俊夫	山本 勝博	藤田 和紀	中川 淳	染谷 太	小林 実	小濱 哲二	榎澤 幸広	三田村桂子	鈴木絵美子	青山 ゆう	渡辺 英紀	米澤智恵子	山口 協子	古川 治夫	長峯 圭助	加藤 保佳	伊藤 央樹	筋 茜	伊藤 修一	西村 忍	高橋 朱美	北島 憲介	安部 哲人	森 英樹	田原 彰乃	清水 一雄	北山 真実	石田 立治
辻下よし美	菅原 宏栄	荒川 昌代	張本 達宏	島崎 勉	荒井千恵子	関 雅子	久保田弥央	青島 泰子	奥山 雅敬	井上 有理	片山 進	今村 壮志	三瓶 清晴	安田純一郎	登山 邦雄	鈴木 淳一	飯田 淳一	古屋 知子	楠本 博	宮尾麻衣子	増山 一清	佐々木哲子	三枝 眞子	伊達 博	島田 裕子	老沼 宏二	杉本 隆幸	長田 眞作	伊藤 裕子	飯田 昌宏	中村 充宏	土信田さやか	桐山 丈司	安齋 恵子	山田 雅文	岩崎 美幸	矢島 温子
岩川 孝志	菅原 祐二	小山外美子	阿部 信弘	若松 信子	折田 政寛	倉茂 順教	小松 茂	秋元 篤司	古関 義幸	松隈 純	矢花 薫	今村 祐可	杉山 節子	久保寺博久	永松 睦美	洞庭 勝男	小野 弘樹	阿部 千智	堤 清樹	藤島 拓美	宮尾 杏子	城下 洽子	三枝 弘育	田邊 晴久	伊達 悦子	小林 昌市	坂本優美子	大久保勝司	池田 隆雄	野崎 直秀	中村 博信	竹下 哲朗	安齋 真人	岡本 数春	中村 咲子	矢島 洋一	

未掲載は略させていただきます。万が一、
しるすので「報」欄ください(掲載順不同)

▽個人寄付
谷川 浩也(三万五千元)
金見久美子(一万円)
森田 裕一(一万円)

▽令和6年新年号広告
小笠原ガス
前田商店株式会社

▽一口
萩原 正幸
田村 佳津
榎本 泰雄
安達 翔馬
渡辺 恵子
岡本 良一
浅井 しの
細谷 充男
黒飛 浩行
打林真梨絵
山口左和子
岡橋 隆司
松井 重信
村上 泰子
長谷川尚子
片桐麻由子
栗田 徹
田中 治
生方 千里
横倉 恵子
永沢 弥生
山田 雅子
高松紗絵子
池田 真人
休場 龍
市守 大介
阿部 智子
大金佐重里
相田 智久
木下 説子
嶋田 姫由
小林 絵璃
大島 朋子
甲斐健太郎

松原真友子
石川あゆみ
竜多
宇田 喜一
森山 卓也
木下伊知郎
山川 操
辰巳 英之
平山 昇
池田 充
皆良田綾香
竹内 真代
和田 効男
永沢 結
高松 直義
矢野 信也
後藤 武博
菊池 政孝
稲垣 乾一
石井 正則
池田 望
評議員

謹んでご冥福をお祈り
申し上げます。
和 実様 77歳
令和6年4月10日ご逝去
元小笠原支庁職員
父島東町在住

評議員
池田 望
石井 正則
稲垣 乾一
菊池 武博
後藤 豊久
近藤 洋美
佐藤 蔵雄
寒川 浩
杉浦 高弘
鈴木 益美
中村 章
矢田 信和
洪井 豪介
佐藤 一郎
岡部 実
小暮 正昭
洪谷 義一
田代 浩也
谷川 裕一
森田 裕一
若澤 美義
鈴木 茂
野村 文和

**小笠原協会賛助会員
ご入会のお祝い**

ご入会は、インターネット
小笠原協会 で検索
スマホからも
入力可能です。

5月に定例理事会、6月に
定時評議員会を開催し、令和
5年度の事業報告並びに収支
決算報告が承認されました。
なお、評議員会では、監事に野
村文和氏が選任されました。

公益財団法人 小笠原協会
役員

小笠原航路時刻表 (令和6年7月~令和6年12月)

ハートロック (千尋岩)

運航月	東京発	父島着	父島泊	父島泊	父島発	東京着	父島泊数
7月	11:00	11:00	—	—	15:00	15:00	3泊
	3(水)	4(木)	5(金)	6(土)	7(日)	8(月)	
	10(水)	11(木)	12(金)	13(土)	14(日)	15(月)	
	東京発	父島着	父島泊	父島泊	父島発	東京着	父島泊数
	11:00	11:00	—	—	15:30	15:30	父島折り返し
	16(火)	17(水)	—	—	17(水)	18(木)	
	19(金)	20(土)	—	—	20(土)	21(日)	
8月	2(火)	3(水)	—	—	3(水)	4(木)	父島折り返し
	6(火)	7(水)	—	—	7(水)	8(木)	
	9(金)	10(土)	—	—	10(土)	11(日)	
	13(火)	14(水)	—	—	14(水)	15(木)	
	16(金)	17(土)	—	—	17(土)	18(日)	
	20(火)	21(水)	—	—	21(水)	22(木)	
	23(金)	24(土)	—	—	24(土)	25(日)	
東京発	父島着	父島泊	父島泊	父島発	東京着	父島泊数	
11:00	11:00	—	—	15:00	15:00	3泊	
27(火)	28(水)	29(木)	30(金)	31(土)	9/1(日)		
9月	2(月)	3(火)	4(水)	5(木)	6(金)	7(土)	3泊
	8(日)	9(月)	10(火)	11(水)	12(木)	13(金)	
	14(土)	15(日)	16(月)	17(火)	18(水)	19(木)	
	20(金)	21(土)	22(日)	23(月)	24(火)	25(水)	
	27(金)	28(土)	29(日)	30(月)	10/1(火)	10/2(水)	
10月	4(金)	5(土)	6(日)	7(月)	8(火)	9(水)	3泊
	11(金)	12(土)	13(日)	14(月)	15(火)	16(水)	
	18(金)	19(土)	20(日)	21(月)	22(火)	23(水)	
	25(金)	26(土)	27(日)	28(月)	29(火)	30(水)	
	31(木)	11/1(金)	11/2(土)	11/3(日)	11/4(月)	11/5(火)	
11月	6(水)	7(木)	8(金)	9(土)	10(日)	11(月)	3泊
	12(火)	13(水)	14(木)	15(金)	16(土)	17(日)	
	18(月)	19(火)	20(水)	21(木)	22(金)	23(土)	
	26(火)	27(水)	28(木)	29(金)	30(土)	12/1(日)	
12月	3(火)	4(水)	5(木)	6(金)	7(土)	8(日)	3泊
	10(火)	11(水)	12(木)	13(金)	14(土)	15(日)	
	16(月)	17(火)	18(水)	19(木)	20(金)	21(土)	
	22(日)	23(月)	24(火)	25(水)	26(木)	27(金)	
	東京発	父島着	父島泊	父島泊	父島発	東京着	父島泊数
	11:00	11:00	—	—	15:30	15:30	父島折り返し
28(土)	29(日)	—	—	29(日)	30(月)		
31(火)	1/1(水)	—	—	1/1(水)	1/2(木)		
1/3(金)	1/4(土)	—	—	1/4(土)	1/5(日)		

さあ！母島へ行こう

母島への航路(ホエールライン) (令和6年7月~令和6年12月)

母島は父島の南約50kmに位置しその広さは約21km²です。
島の中央に乳房山(463m)があり島の周囲は58kmあります。
母島を観光される方は、下記の時刻表でぜひ訪島してください。

運航月	おがさわら丸 父島入港日	おがさわら丸 父島入港の翌日	おがさわら丸 父島出港日	おがさわら丸 父島出港日	その他の日	運休日						
運航時刻	父島出港	12:00	7:30	7:30(7:30)	14:00(13:30)	7:30						
	母島入港	14:00	9:30	9:30(9:30)	16:00(15:30)	9:30						
	母島出港	—	14:00(15:00)	12:00	10:00(10:30)	14:00						
	父島入港	—	16:00(17:00)	14:00	12:00(12:30)	16:00						
運航月日	7月	4(木) 11(木)	5(金) 12(金) 18(木)、25(木)は ()の時間	7(日) 14(日)	17(水) 24(水) 31(水)	2(火) 9(火) 16(火) 23(火) 30(火)	3(水) 10(水) 17(水) 24(水) 31(水)	6(土) 13(土) 20(土) 27(土) 3(日)	1(月) 8(月) 15(月) 22(月) 29(月)	8(月)		
	8月	—	1(木)、8(木)、 15(木)、22(木)は ()の時間	—	3(土)、10(土)、17(土)、 24(土)は()の時間	2(金) 9(金) 16(金) 23(金) 30(金)	5(月) 12(月) 19(月) 26(月) 2(日)	6(火) 13(火) 20(火) 27(火) 4(日)	4(日) 11(日) 18(日) 25(日)	—		
	9月	28(水)	29(木)	31(土)	—	2(月) 9(月) 16(月) 23(月) 30(月)	5(木) 12(木) 19(木) 26(木) 3(日)	8(日) 15(日) 22(日) 29(日)	11(日) 18(日) 25(日)	1(日) 8(日) 15(日) 22(日)	13(日)	
	10月	3(火) 10(火) 17(火) 24(火)	4(水) 11(水) 18(水) 25(水)	6(金) 13(金) 20(金) 27(金)	—	1(火) 8(火) 15(火) 22(火) 29(火)	4(金) 11(金) 18(金) 25(金) 31(金)	7(月) 14(月) 21(月) 28(月)	10(月) 17(月) 24(月) 31(月)	2(火) 9(火) 16(火) 23(火) 30(火)	—	
	11月	1(金) 7(木) 13(水) 19(火) 27(水)	2(土) 8(金) 14(木) 20(水) 28(木)	4(月) 10(火) 16(水) 22(火) 30(土)	—	3(日) 9(土) 15(金) 21(木) 28(水)	6(水) 12(火) 18(月) 24(日) 29(金)	9(土) 15(金) 21(木) 28(水)	11(日) 17(日) 23(日)	5(火) 12(火) 19(火) 26(火) 1(日)	—	
	12月	4(水) 11(火) 17(月) 23(日)	5(木) 12(水) 18(火) 24(火) 30(月)	7(土) 14(土) 20(金) 26(木)	—	2(月) 9(月) 16(月) 23(月) 31(火)	3(火) 10(火) 17(火) 24(火) 31(火)	6(金) 13(金) 20(金) 27(金)	9(月) 16(月) 23(月) 30(月)	10(火) 17(火) 24(火) 31(火)	1(日) 8(日) 15(日) 22(日) 27(日)	—

◆時刻表は今後の状況により変更となる場合もあります

◎問い合わせ先 小笠原海運株式会社 ☎03-3451-5171

◎問い合わせ先 伊豆諸島開発株式会社 ☎03-3455-3090